

妖怪退治の神浪家

庵豆のBadEndStory
Act.2 vs孕ませ汚やじ



かなみ あんず
神浪 庵豆

妖怪退治を生業にする
退魔士の一家、神浪家の長女

その能力はかなり高く
同業者だけでは無く
妖怪の間でもその存在は
噂となるほど

また、
その豊満な肉体を目的に
妖怪やよこしまな人間が
近寄ってくる事も多い



孕ませ汚やじ

異常な性欲を持った中年のおやじ
その性欲を表すからのように大量の精子を
金玉に蓄えており、常人の10倍の大きさがある
普段は痴漢、盗撮、下着泥棒、露出を繰り返す変質者
あまりに下劣な思考をしている為、
最近、半妖怪と化してきている

今までに一度もまともに女性と付き合った事はなく、
結婚というものにも興味はないが、
自らの遺伝子を後世に残そうとする意志はある
その劣等遺伝子を優秀な母体に注ぎ込むため
庵豆に目を付けた






あんず

退魔士、庵豆は妖怪退治の日々に明け暮れていた

近年、増加する人間の負のエネルギーにより

膨大な数の妖怪が姿を現し始めたからである

そして、ようやく数日ぶりに休息を取る日があった



ふう…久しぶりに
家に帰って来たわ…
やっと布団で
ぐっすり寝れるわね



んんッ!!

な…なんだろ…
すごく変なおいがする…
て…てゆうか…私のベッド
なんかこんもりしてる…
え…ま…まさか…

モフッ



ちよ…ちよっと
誰かいるのツ!!
わ…私のベッドに
入ってるのは誰!?



いやッつかえりなさい
俺豆さんおつかれさまです
帰るのが遅いのでちよっと
休ませてもらってました…

えッ…だ…誰!?
なんで私の家にッ
うッ…く…臭ッ
誰なのよあんた!!

のぞッ

この家には数日前、
俺豆さんが鍵を開けたまま
買い物に行った隙に
入ったんですよろうへへ

ま…まさか
それって一週間くらい前
じゃないッ!!
そんな前からいたの!?

楽しませて
いただきましたよお
俺豆さんの残り湯に入ったり
歯ブラシも毎日使わせて
もらいましたくへへッ



あと俺豆さんの
下着も何回か
装着しましたし…
とにかく全てが良い匂いで
何回も抜いちちゃいましたよ

もういいわッ
と…とにかく
すぐ出ていき
なさいッ!!

ど…どうりで
1週間くらい前から
あちこちで変なニオイが
するし…白い液が
ついてたのね…



出ていくわけには
いかないですね
やっとなん豆さんに
出会えたことですし
目的を達成させて
もらいます

も：目的って：
なんのつもりか
知らないけど：
早く出ていかないと
警察を呼ぶわよ

このオヤジ：
人間のようだけど
うっすら妖気も
感じるわね：

えッ…なに…
う…腕が…
勝手に動いく…

庵豆さん…近くで見るとやはり
素晴らしい身体をしていますねえ
私は3年前からずっと庵豆さんに
目を付けていたんですよ
毎日毎日、庵豆さんの写真を見たり
遠くから眺めながらオナニーを
してたんです…

や…やめなさいッ
ぐッ…身体が
言うことを聞かない

ぐッ
ぐッ
ぐッ

たぷん

たぷん

その美しい容姿に豊満な体…
そして…優秀な退魔士…
完璧な女性ですよ…男性なら
誰でも憧れてしまつてしょう…
私はそんな庵豆さんで毎日オナニー
して煩惱が積み重なっていく内に
ついには半妖怪となり…この力を
手に入れたんです…

きゃあ

ぷるんッ

では：
これからしばらく
庵豆さんの身体を
堪能させていただきます

なにしてるのッ
早く戻してッ





ぐんぐん

いやッちよッ
いやあッ
やめてえ!!

ぽんぽん

夢にまで見た
庵豆さんのおっぱい…

いただきますッ



ちゅんちゅんちゅんちゅん

ちゅん

ちゅん

いやあああッ!!
吸わないでえ

気持ち
悪いッ!!

これは
美味ッ!!

こんな事してッ!!
ただじゃ
おかないわよ

んッ!!

ぐんッ!!

もみゅゅ
うん

ちゅぱ
ちゅぱ

そんなに
怒ってもすぐに
怒りは無くなり
ますよ

なんせ
もうすぐ私たちは
愛し合うんです
からッうひッ

あ…愛しあうって
何言ってるのよッ
誰があんたみたいなの
汚いおっさんと…

むいむい
むいむい

ちゅぱ
ちゅぱ

さわさわ

このかわいいお腹に
私の劣悪遺伝子を
孕ませるんですよ
それこそ私の目的です





いやああ
もう吸わないでえ
その吸い方…
だめえ!!

ひくッ ひくッ ひくッ

これ以上…
吸われたら…
もあ…わたし…
おかしくなる…

やめられないですよッ
こんなに美味しい
ですからッ!!

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

あーっ
あーっ
あーっ



どうですか？
庵豆さんッ
私の愛撫は…

これは庵豆さんの
為にずっと練習
してたんですよ

ちゅぱ
ちゅぱ

ちゅっ
ちゅっ

はあ

ぽ〜

はあ

ま…まずいわ…
おっぱいが…すごく
敏感になってきてる…
それにこのオヤジの
吸い方…揉み方…
いやらしすぎる…

も…もう満足でしょや…やめて

はあ

はあ

ああ…だめだ…
こ…このオヤジの愛撫を求めてしまいそうになってる…
しっかりしないと…

ちゅぱ
ちゅぱ

ちゅう
ちゅう

なんかすごく気持ちよさそうですけどやめていんですか？





庵豆は連日続いた妖怪との戦いで
性的な攻撃もかなり喰らっていた

休息を取る間も無く汚やじに
襲われた為、身体は刺激を受けやすく
なっており、愛撫にはいつも以上に
敏感に反応してしまっていた

庵豆さん…
では少しかがんで
もらえますかね…
と言っても身体は勝手に
動くでしょうけど…
すみませんね…
私の身長が低いもので…

今度は何を
する気なの…
その汚い顔を…
近づけないでよ

はあ

はあ

おやおや…
まだそんな威勢が
残ってるんですね

ああ…
なんて
かわいい
唇だろう

くっ臭い
な…なんなの…
この口臭…鼻が
おかしくなりそう

はあッ

失礼ですね…
これでも毎日ちゃんと
俺豆さんと同じ
ハブラシで磨いて
たんですよッ





ああッ
くくちが勝手に
開いていくう

もわあ

さあ俺豆さん
恋人の証として私と
誓いのベロチュウを
しましょう

い…いやだ…
キスなんて…
絶対したくない…

はあ

べえ

はあ

庵豆さん…の息
すごく甘くて良い
においがしますッ
本当に良い女ですねえ





いまだにキマッてます!!

んちよ
んちよ

べちよ!!

いやあああッ
臭いよおーッ!!

念願の庵豆さんとの
べろちゅっッ
最高ですッ庵豆さんの
口の中に私のベロが
入ってるんですねえ

ちゅっッ

ちゅっッ

ちゅっッ

ちゅっッ



さ...最悪...
こいつ...

私の歯を1本
ずつ舐めまわ
してるう

ふせう

ちゅっ

ちゅっ

んんん

ぐちゅぐちゅ

ちゅっ

ちゅっ

庵豆さんの粘膜...
あつたくて気持ち良い
くちの中の唾液...
全部飲みたいくらい
美味しいキスだ...

臭い臭いッ!!
早く終わってえ
吐きそつッ!!

うまいッ!!
俺豆さんの唾液
最高おろほほッ
甘くて美味しいッ

ちゅん

ちゅんちゅん
ちゅんちゅん

ちゅん

ちゅんちゅん
ちゅんちゅん
ちゅんちゅん

ちゅん



はあ...はあ...
やっと終わった...
頭がくらくら
する...

はあ

はあ

ぷはぁッ
ごちそうさまです
俺豆さんのキス
最高でしたッ

次は下のほうを
ごちそうに
なりますねッ

え?



ちよッ…いや…
なんでこんな恰好
見ないでッ…
恥ずかしいッ

ぷるっ

ぷるっ

ぱかっ

いやあ

そんな所：
舐めないでッ
わ：私まだ：
お風呂も入って
ないのよッ：

くぱッ

プニッ
ニ

うんッ…これは…
汗とおしっこの
味がしますねえ
でもこの美味しさ
さすが庵豆さん



おやすッ
なんだか濡れて
きましたねえッ
甘い蜜が溢れて
きましたよあッ

ぐっ
ぐっ

ねっ

ああんだめえ
舐めないでえ
い！今は本当に
だめなのあッ



美味美味ツ

じゅぼッ
じゅぼッ

ぐわッ
ぐわッ
ぐわッ

だめだってえ
いやああああッ
ベロを入れないで



はははは

す...すごッ...だめ
そんなに動いちや
わ...わたし...もう
我慢できないッ

ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ

じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぽっ

俺豆さんの中から
どんどん蜜が
溢れてきてますよあ
気持ちいいん
ですねぇッ



ポシゅああッ

うほッ

じゅぽッ
じゅぽッ

じゅぽッ
じゅぽッ

庵豆の身体はすでに反応を

抑える事はできなくなっていた

かろうじて意識はまだ抵抗していたが

身体は汚やじの愛撫を求めはじめていた

庵豆はそれに気づいていたが

どうする事もできなかつた

庵豆さん…

ひざまずいてください…

今度は私のものを庵豆さんに

舐めてキレイにしてもらいます

やはり汚いまま庵豆さんに

挿入するわけにはいかない

ですからね…

お願い…
もうやめて…
こんなの舐める
なんてできない…

こんな…
チンカスだらけの
舐めたら…びよ…
病気になるわ…

はあ

はあ

でもチンカス
だらけのチ○ポを
挿入したら妊娠に
差支えがあるかも
しれないですからねえ

びんッ

に…妊娠て…
なにを言ってるの…
それに私が舐めなくても
お風呂で洗えば
いいでしょ

はあ

はあ

いやだ…
こんな汚いチ○ポ
舐めたくない…
こいつ…絶対
おかしい…

何回お風呂に
入ってもすぐにカスが
溢れて出てくるんですよ
その証拠に皮の中の
カスを見せますね

ぐわ



いやあッ
くさいッ

なんなのこれッ
カ…カスつきすぎ
どうやってたらこんな
ううッ…ひどい
においだわ…

もわッ

ほろほろ

ほらすぐいでも
取っても取っても
すぐにかすだらけに
なっちゃうんですよ
きれいにしてください



ね…ねえ
これは本当に無理だよ…
お願いだから…
一度お風呂で流してきて…
そ…そうすれば
舐めるから…

ぷ
ん

大丈夫ですよ…
心配しなくても
俺豆さんの舌や顎は
私の能力で動かして
あげますからッ



ぐい
ぐい

いやッ
やめてえ
ふぎいいッ

臭いッ!!
臭いよあッ

だめですよ
歯を立てたらッ
ゆっくり丁寧
に舐め取って
くださいねえ



あつううッ
いやああッ
なんで私が
こんな目に…

にがいッ
くさいッ
なんなの
この味…

べちゅーん
べちゅーん

いいですよ
おうッ…き…
気持ちいいです…
なかなか良い
舌使いですよ



いくら舐めても
全然取れないわ：
し：舌にねばねば
絡みついて：
気持ち悪い：

べちゅー
べちゅー
べちゅー
べちゅー
べちゅー

やはり
舐めるだけじゃ
取れませんか：
じゃあ口の中で
洗浄しましょう

にゅるにゅるにゅる

ぐぼっ

ああッ
これはいいですねッ
庵豆さんの口の
中…あつたかくて
すごく気持ちいい

頭がおかしく
なりそう…
この悪臭…

んんん

んんん

最高ですッ
気持ちよすぎですよ
俺豆さんッ

ぐちよ
ぐちよ



がしゅ
がしゅ

んぐ
んぐ
んぐ
んぐ!!

がしゅ
がしゅ

んぐ

んぐ

ああッ
出るッ
…

出ちやいます
受け止めて
くださいッ



うッ

んぷう!!

どばッ

お：おええ：
気持ち悪い：
は：鼻の中まで：
カスまみれの：
精液が：

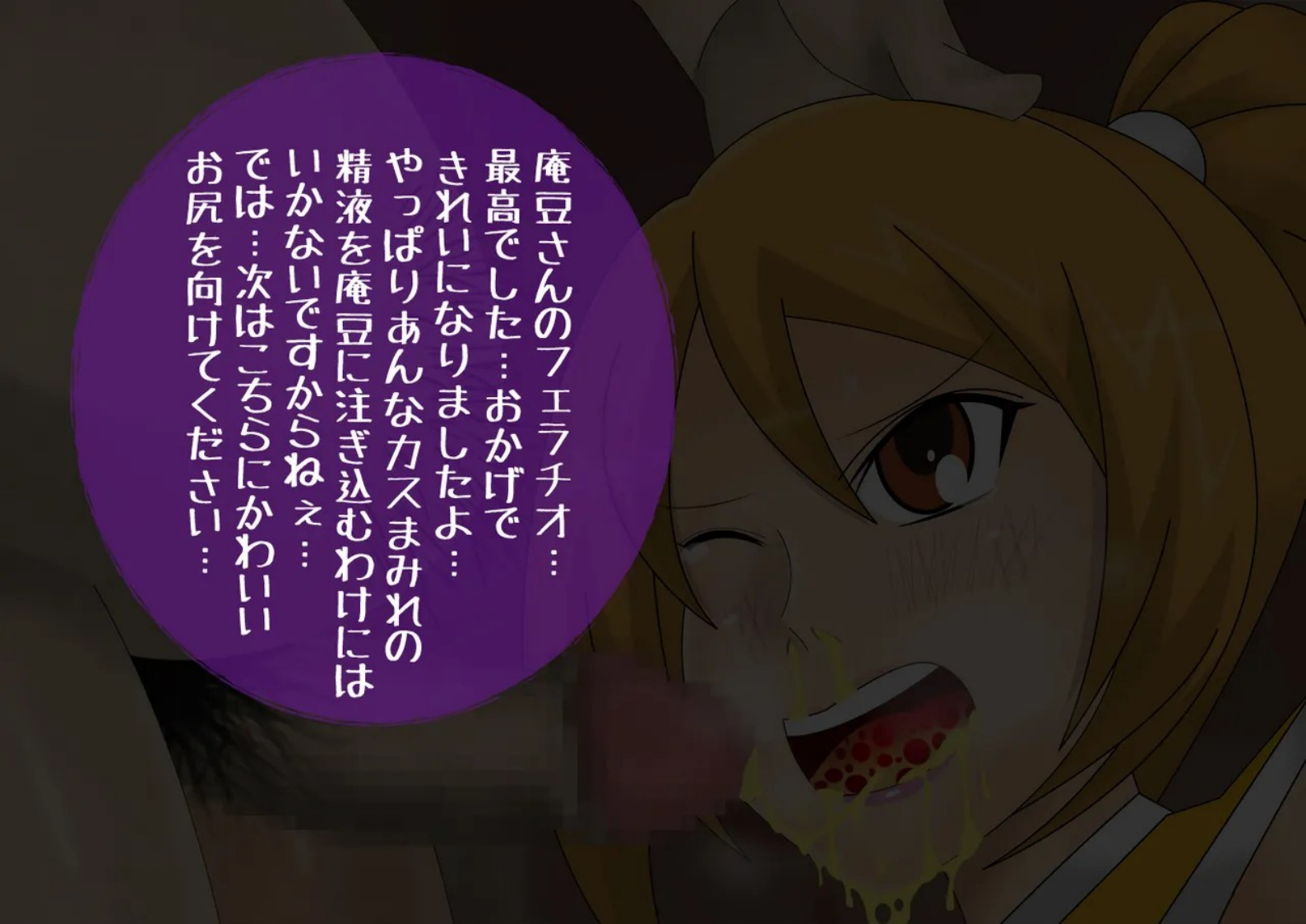
はあ

はあ

はあ

はあ

うわあ：カスが
まじって精液が黄色く
なってますねえ：
我ながら：これは
汚すぎますね：はは



庵豆さんのフエラチオ…
最高でした…おかげで
きれいになりましたよ…
やっぱりあんなカヌスマミれの
精液を庵豆に注ぎ込むわけには
いかないですからねえ…
では…次はこちらに可愛い
お尻を向けてください…



も...もう
やめて...お願い...
もう十分でしょ

はあ

はあ

ふる!!



はあ

はあ

い...いやあ
まさか...本当に
入れる気なのッ!!

さわ
さわ

おほおろッ
これはこれは...
安産型の良いお尻
ですねぇ...



ああああッ
俺豆さんの中に
入っていきますう
ウホッ!!

じゅぶ
じゅぶ

は…入って…
くるう…おやじの
汚いチ○ポがッ!!

ぐわん
ぐわん

ぐわん



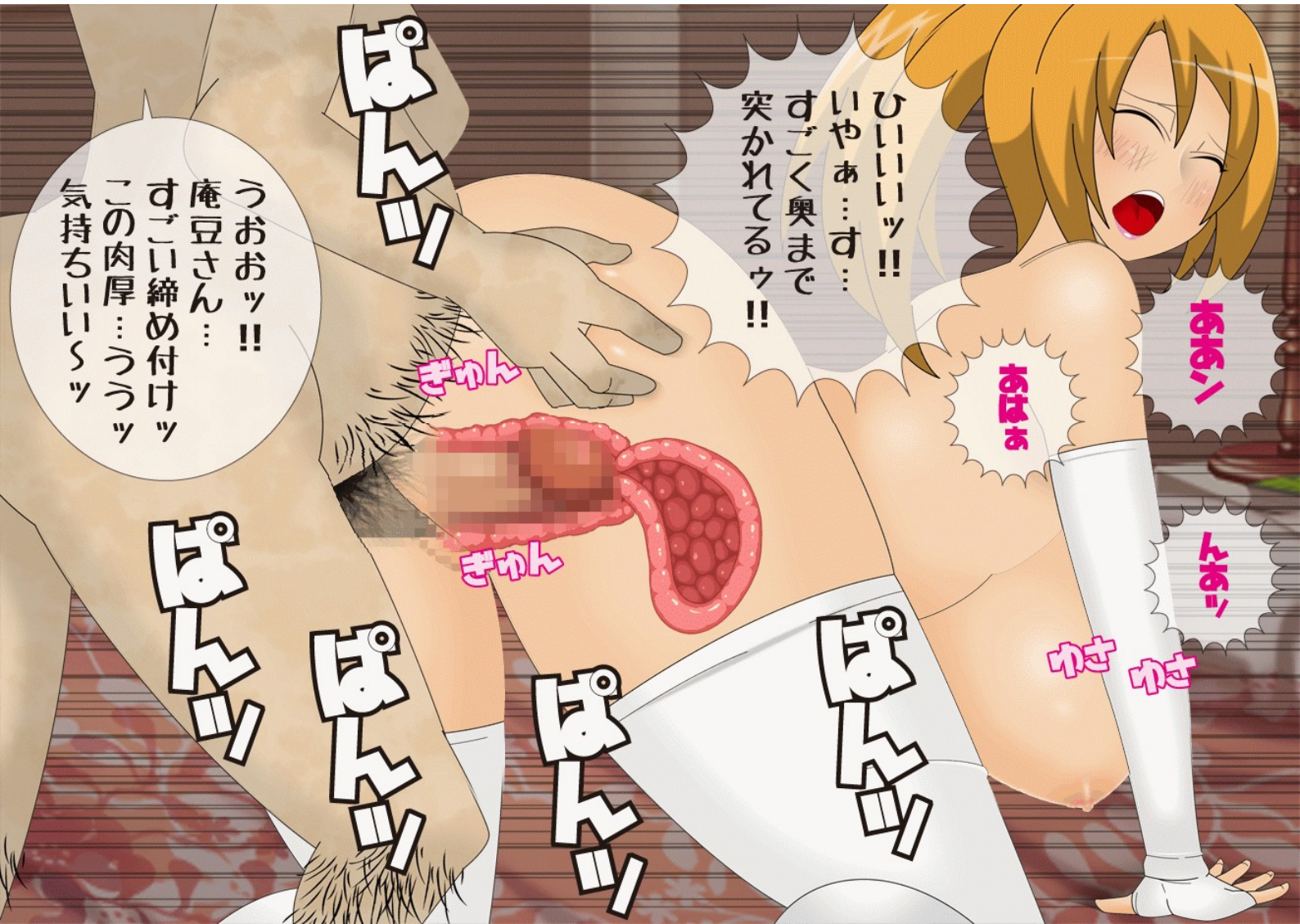
んんあああッ
だ…だめえ…
ぬ…抜いて…

はま
はま
はま
はま

す…すご…ッ
な…中で大きく…
なってるうッ!!

じゅぷ
じゅぷ

き…気持ちいいッ
なんて気持ちいい
腔内なんですかッ
す…すぐに出て
しまっそうですッ



ひいっ!!
いやあ...す...
すごく奥まで
突かれてるウ!!

うおおッ!!
俺豆さん...
すごい締め付けッ
この肉厚...ううッ
気持ちいいッ

ぱんっ

ぎゅん

ぎゅん

ぱんっ

ぱんっ

ぱんっ

ぱんっ

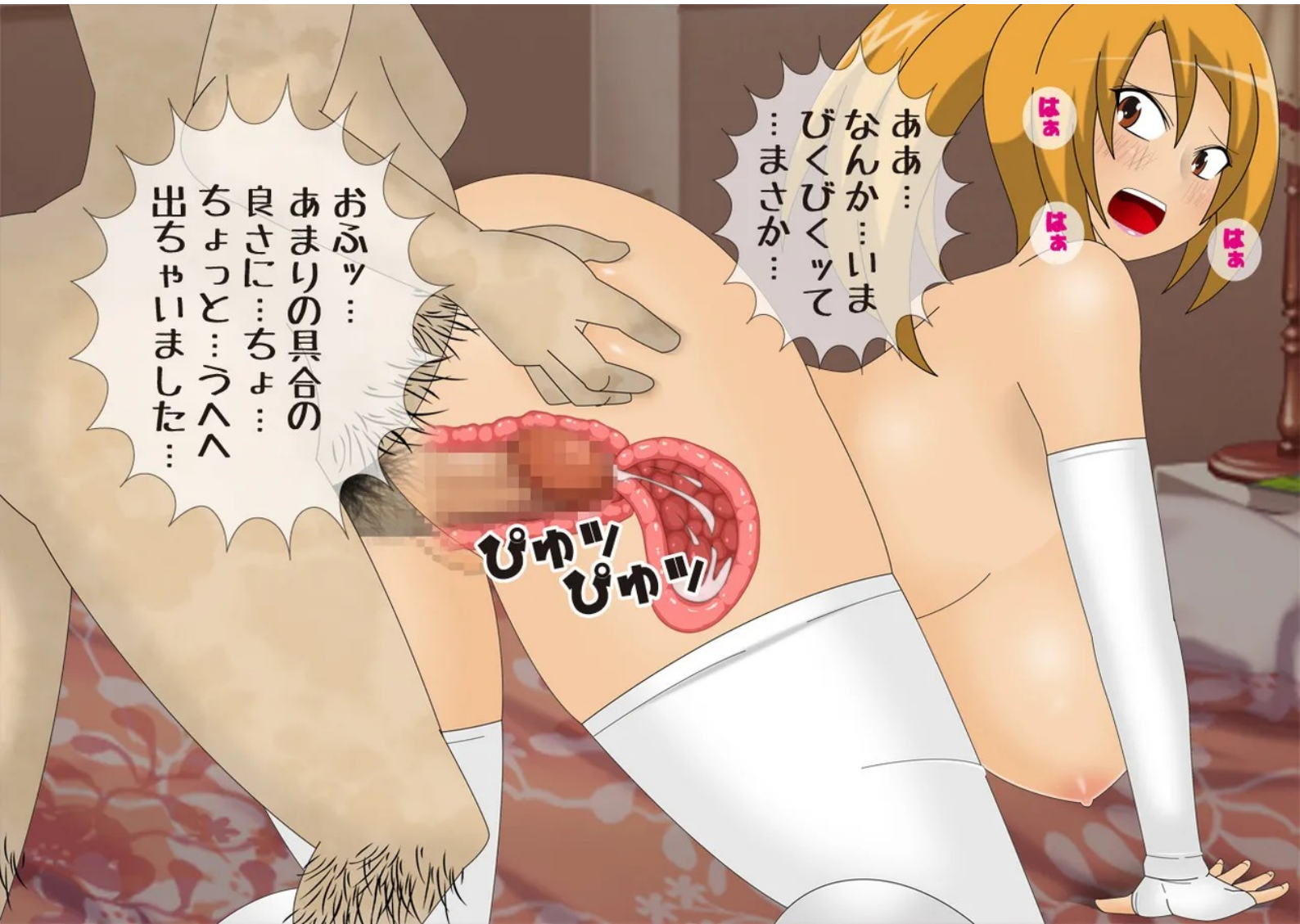
あはあ

んんん

んんん

ゆさ

ゆさ



はあ
はあ
はあ

ああ：
なんか：いま
びくびくッて
：まさか：

おふッ：
あまりの具合の
良さに：ちょ：
ちよっと：うへへ
出ちゃいました：

びゅん
びゅん



だ：だめよ：
な：なかには：
出さない：で：
ふあああッ

はあ
はあ
はあ

あんッ

あまッ

ゆせ ゆせ

気持ちいいッ
止まりませんッ
もっともっと：
出してあげます
からねえッ!!

ぱん
ぱん



出てますよ
これが私の
劣等遺伝子ですッ!!
受け止めて
くださーいッ

だ…だめだって
い…言…って…る…
のに…んああッ
で…出…てるッ…

どびゅ
どびゅ

あまッ
あまッ
かせ
かせ

はあ
はあ
はあ
はあ



まだまだ
出ますよッ
私の精子は無限です
俺豆さんの膣を
満タンにしますッ

どひゅ
どひゅ

どひゅ
どひゅ

ああッ…
すごい…いっぱい
出てる…おやじの
劣等遺伝子ッ!!

あひゅッ

ゆさ
ゆさ

んへッ

はあ
はあ
はあ
はあ



あぎいいッ!!
わたしのなかに...
精子がいつぱい...
溢れてるう!!

さ...最高ですッ
あの...俺豆さんと...
セックスして...
中出しできるなんて
夢のようですねえ

とびゅ とびゅ

とびゅ とびゅ
とびゅ とびゅ

はあ はあ
はあ はあ

あぢゅ

かせ かせ



はあ

はあ

はあ

あああッ
ほ…ほんとに…
中に…出す…
なんて…

はあ

いやあッ
けっこう出ましたねえ
でも私の玉袋はまだ
たんまり蓄えて
ますからねえ…

はあ

ひくッ
ひくッ



そ…そんな…
こんな事続けたら
ほ…本当に…
赤ちゃんが…
で…できちゃうよ

たら〜

は

は

は



汚やじは比較的早漏に加え絶倫だった

そして…汚やじはこの日、庵豆を

襲うことも計画済みであり…

この日が庵豆の排卵日である事も

事前に調査していたのだ…

なに言ってるんですか

庵豆さん…それこそ…

今日の目標ですよ…

私のために立派な

赤ちゃんを産んでください…

もちろん私はその後の事は

知りませんけどね…

しっかりと育ててください…



そ…そんな…
ひどい…
あんたの子なんか
産みたくない…

はあ

はあ

ぴとッ

だめですよッ
やっぱり出産は
同意の上じゃないと
すつきりしません
からねえッうひひ



やあッ

も...もう
入れないで
いやあッ

じゅぽぽッ

さあッ
子作りセックスを
続けましょうッ

あまのこ

む…無理…
だめ…わたし…
もう…あぁッ

じゅぼッ
じゅぼッ

いやだ…なんで…
すぐく気持ちいい…
こんな汚いおやじと
セックスしてるのに
私…感じてる…!?

おやおやッ
俺豆さん…
なかなか良い
表情ですねぇ



ひびくひびく

きき

もうやめてえ!!
これ以上その
汚いチ○ポで
感じたく
ないよあ!!

あはは

たかッ

たかッ

じゅぽん

じゅぽん

じゅぽん

じゅぽん

あひい

びん
びん
ツツ

じゅぼッ
じゅぼッ

だめえ!!
気持ちいいよお
せ：せつくすう：
気持ちいいッ!!

じゅぼッ
じゅぼッ

これは
嬉しいですねえ
ついに本音が
でましたねッ

ああッ

でッ…出てるッ!!
また…うす汚い…
れ…劣等遺伝子が…
私の中に出てるよお!!

どくどくッ
どくどくッ

と…届けますよッ
わ…私の劣った
劣悪な精子を…
あ…俺さんの…
優秀な卵子に!!



あゝゝ

んんん

あ…ああ…!!
感じる…い…いま…
受精しちゃってる…
私の遺伝子と…
融合しちゃってるう!!

ズクッ
ズクッ
ズクッ
ズクッ

私も感じますッ
これで俺豆さんと…
ひとつになれた…
気がします…
うへ…うへへッ!!



あ…あああ…
わたし…これで…
妊娠しちゃうの…

はあ

はあ

はあ

はあ

どろどろ

どろどろ

もちろん…
しっかり妊娠
してもらいますよあ
でも念のために
あと数十回は中出し
しましょうねえ

そして…この後

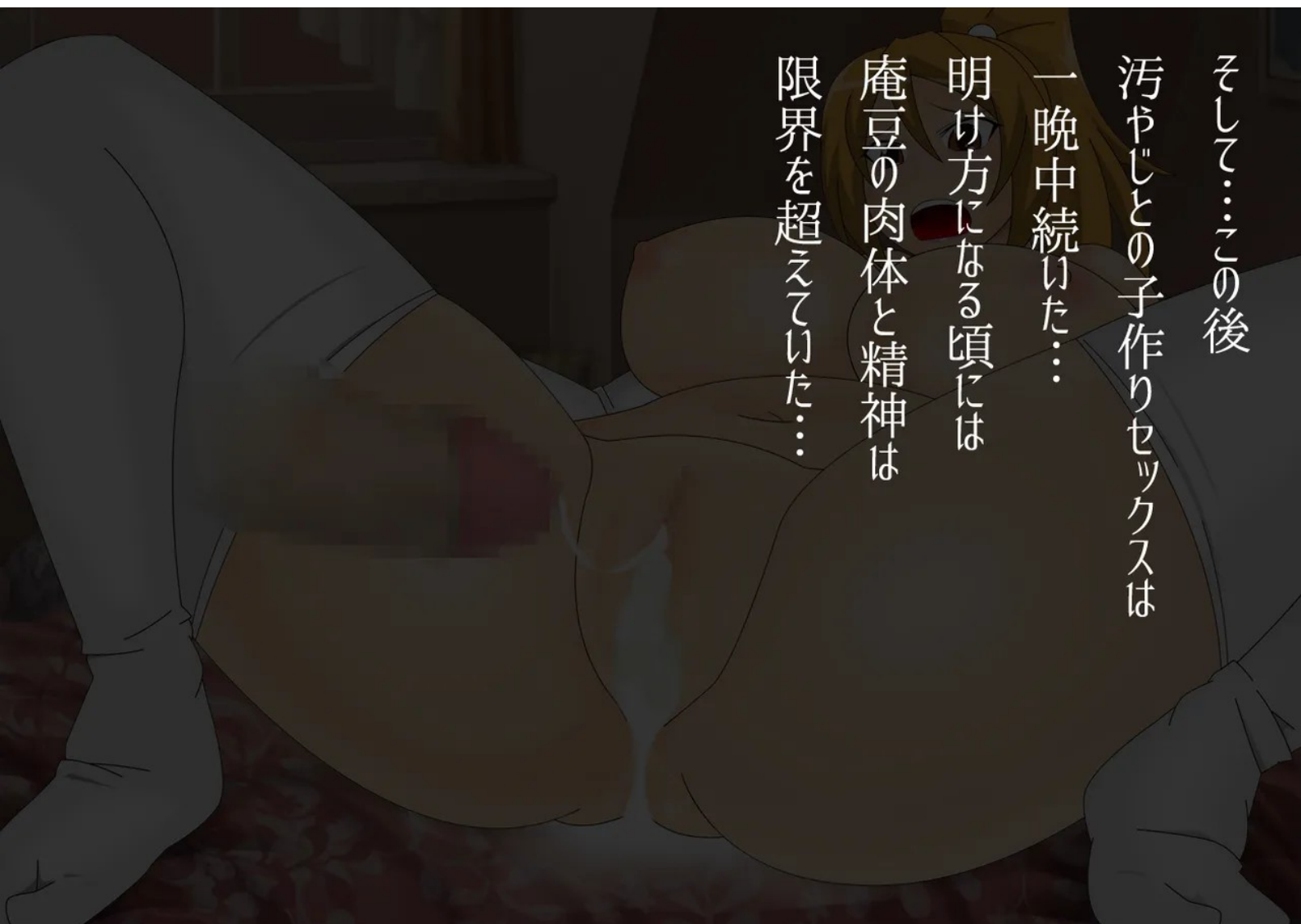
汚やじとの子作りセックスは

一晩中続いた…

明け方になる頃には

庵豆の肉体と精神は

限界を超えていた…



ね…ねえ…
さっきから
お腹触って
なにしてるの？

これですか？
これは庵豆さん…
排卵マッサージ
ですよ…しつかり
受精できるようにね

ぱんぱん

あんっ

あんっ

あんっ

あんっ

あんっ

なでなで

も…もう…
そんな事しなくても…
絶対妊娠してるよ…
何十回中出したと
思ってるの…ばか…

あ…あのさ…
そろそろ…
体位変えない？

んっ

ゆせ

ゆせ

んっ

ぱん
ぱん

なで
なで

いやですよあ…
これが良いですよ
身体も密着して…
まさにラブラブ
セックス…うひッ

あ…ああん…
でも…あんたが…
私に全体重かけてるから
私…もう足ががくがくで
立ってられないのよ…



だめです!!
この体制が排卵に
良いような気が
するんですッ!!

あ〜ん!!
ダメだって…
言ってるのに!!
もぉ…腰が…
限界なのぉ!!

じゅぽん
じゅぽん

さわ
さわ

やわ
やわ

あ〜ん

あらん…もう
ちよつとは私の
事も考えてよッ

おやろ？
そんな生意気言って
いいんですか？
もうバロチユウして
あげませんよ？



ぱん
ぱん

なで
なで

じゅぼ
じゅぼ

ゆせ

ゆせ

んっ

んっ



してあげませんよ?
なんならセックスも
やめましようか?
いいんですからッ?

う...ううう...
べ...べろ...
ちゅっ...

んっ

んっ

ぱん
ぱん

やわ

やわ

なで
なで

じゅぽ
じゅぽ



してほしいなら
私の言うことを
しっかりと聞き
なさい！

え…そ…
そんな…

ぱん
ぱん

ゆせ
ゆせ

んっ

じゅほ
じゅほ

なで
なで

いやだ…
べろちゅう…
してほしい…

あ…あんツ
わ…わかりましたツ
言うこと聞きますツ

よろしいツ
ではご褒美に
べるちゆうして
あげましよう

ぱんぱん

ゆせゆせ

なでなで

じゅぼ
じゅぼ

ぐんぐん
うんうん

あ…
おっぱい
気持ちいいツ



あゝんッやったあ
早くバるちゆうッ
してッ早くッ

うハハッ
俺豆さん…
まるで犬ですね…
でも…いやらしい
甘い息だ…うひッ

ぱん
ぱん

じゅぼ
じゅぼ
じゅぼ
じゅぼ

ぐにぐに
かにか





何度味わっても
俺豆さんの唾液は
本当に美味しいなあ
これは私だけの
ものだあ…うははッ

ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ

ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ

はむ
んん
むじゅ

じゅぼ
じゅぼ
じゅぼ
じゅぼ

あああッ
気持ちいいッ
こんなおやじの
臭くて汚い
唾液が…
おいしいよお

ね…ねえ…
そんなに私のことが
好きなの…？

はあ

はあ

ぎゅぎゅ

もちろんですよ
3年前…まだ
俺豆さんが学生で
退魔士をやってた頃
からずっと見て
ましたよあ

あ…あはッ♥
うれしい…こんなに
私のこと好きになって
くれる人がいるなんて
あ…でも半妖怪だけど…

はあ

はあ





愛しあいましょう
庵豆さんッ
そして二人の
愛の結晶を産み
落として下さいッ

ぐちゅぐちゅ
ぐちゅぐちゅ

ぐちゅぐちゅ
わたくしも
はむっ
すきい♡

ぱんぱん
ぱんぱん

ビュッ
ビュッ

なで
なで

じゅぽ
じゅぽ

庵豆の感覚は完全に麻痺していた

何時間もの性行為により

本来思うはずも無い汚やじに対しての

愛情を抱いてしまっていたのだ

だが…

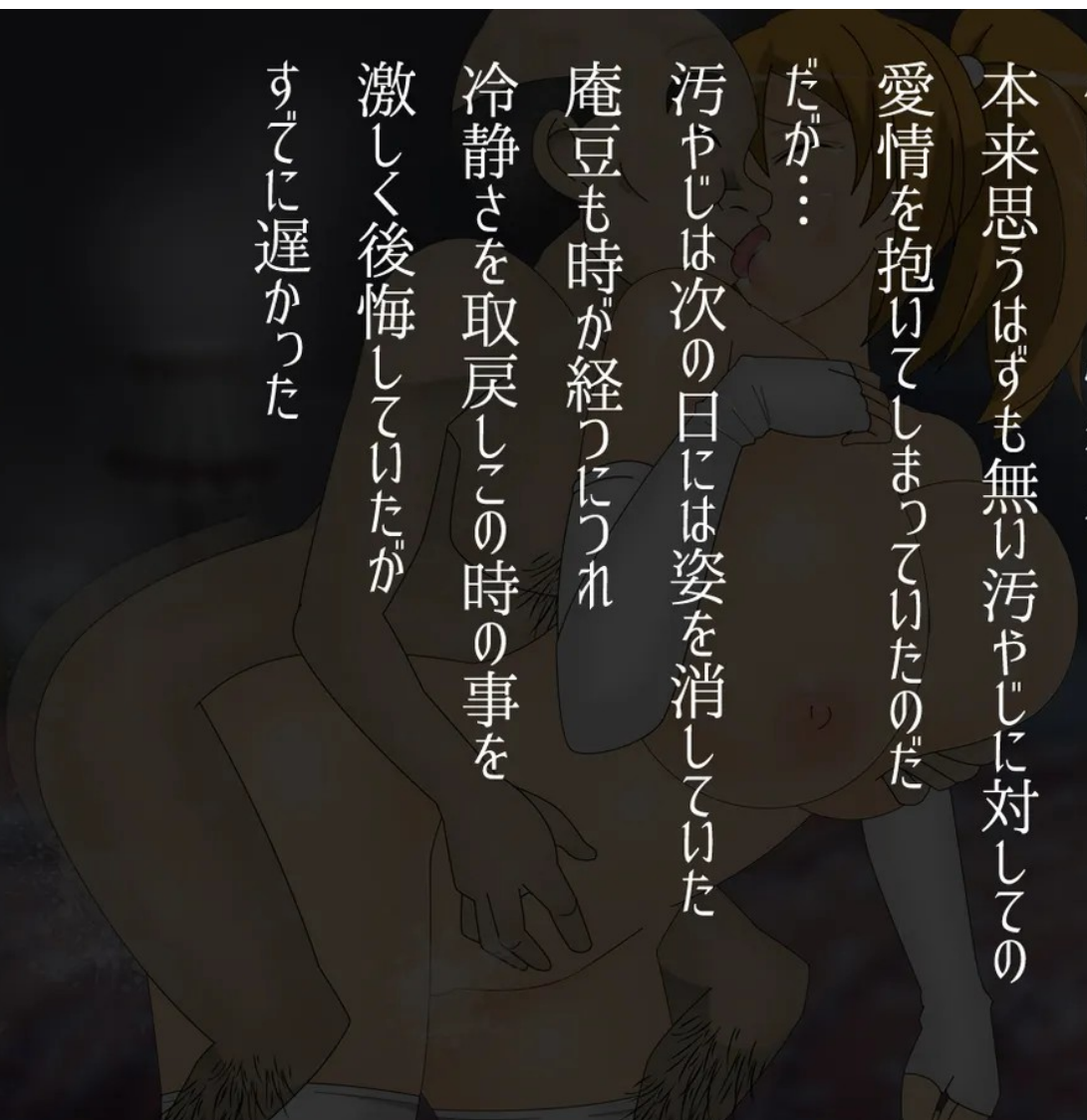
汚やじは次の日には姿を消していた

庵豆も時が経つにつれ

冷静さを取戻しこの時の事を

激しく後悔していたが

すでに遅かった



数日後

予想通りではあったが

やはり生理は来ない…

本来なら汚やじに相談する

事であるが、その汚やじは

いない…

庵豆は悩んだまま月日だけが
経っていった…



数カ月後

通常の妊娠期間よりも

明らかに早く異常な程

庵豆のお腹の膨らみは


大きくなっていった

庵豆は戸惑っていたが

中絶の決断をする間も

無かった…





それでも庵豆は妖怪との

戦いを止めるワケには

いかなかった…

この事は誰にも言えず

戦闘服も妊婦用に作り変え

ただひたすら戦った…

戦闘の最中は妊娠の事を

忘れられたからだ…



だが現実はそうもいかない
庵豆のお腹はさらに膨らみ
着実に新しい命が
庵豆の体内で作られていた…
敵はもちろんその弱点を
狙ってくる…庵豆は無意識に
必死にお腹の中の命を
守るように戦っていた…

庵豆は無意識にお腹を庇うことにて
完全に母性が生まれていた…
そして通常の妊娠より
何カ月も早く
庵豆に陣痛が襲ってきた





はあ

はあ

あああッ
なんで
早すぎるッ
こゝんな
急に来るなんて




はっ はっ はっ

はっ

はっ

ほこり



庵豆は一人
自分の部屋で出産を行った
数か月前まさかこの部屋で
出産するとは夢にも思わなかったが
ついに…汚やじの子を
生み落としたのだった…



ちゅちゅん
ちゅちゅん


数カ月後



ちゅんちゅん

まさか
こんなに
早く母親に
なるなんて...

この子には
とても愛情を感じる...
でもなんだろう...
この子の顔を見る度に
複雑な気持ちになるわ



それはとても容姿端麗な
庵豆の子とは思えないほど
醜い子どもでもあった
そう…あの汚やじ
そつくりな容姿であった
庵豆は白らの子と愛情を
与えるが…その顔だけは
いつまで経つても慣れる事は
無かった…見る度に
あの日の事…あの汚やじを
思い出すからである…